

J R 総連通信

2019年3月12日 No.1299

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

鉄道5単組が回答指定日に向け鋭意交渉中！

2019 JR 総連春闘

第1ラウンドのヤマ場へ突入！

鉄道5単組の回答指定日

単組名	回答指定日	昨年ベア実績
J R 北海道労組	3月15日	0円
J R 東労組	3月15日	基本給×0.25% (基準内賃金平均 1328円の改善)
J R 東海労	3月14日	1,300円
J R 西労	3月13日	1,200円
J R 貨物労組	3月15日	300円

(2019年3月12日 日経新聞)

電機大手、ベア1000円妥結

実施は6年連続 待遇改善、労使に溝

電機各社の労働組合が加盟する電機連合は11日、2019年の春季労使交渉で賃金改善に相当するベアアップ（ベア）を月額1000円で妥結

電機各社の労働組合が加盟する電機連合は11日、2019年の春季労使交渉で賃金改善に相当するベアアップ（ベア）を月額1000円で妥結

日立製作所やパナソニックなど電機大手6社は

する見通しだと発表した。13日に電機大手各社の会社側が組合側に正式に回答する。ベア実施は6年連続となるが、労使で賃上げや人材への投資に対する見解に違いが出ていることも浮き彫りになった。

電機連合は11日、中央労争委員会を開きストライキを実施するかどうか判断する回答を引き出し基準（歯止め）でベアを月額1000円とすることを決めた。

会社側は人材への投資として、ベアではなく退職金や子育てと仕事の両立、職場環境の改善などの待遇改善を主張。ベア

春季交渉 '19

電機業界の春季労使交渉は6年連続のベアとなる見通し

	要求額 (円以上)	回答額 (円)
2014年	4000	2000
15年	6000	3000
16年	3000	1500
17年	3000	1000
18年	3000	1500
19年	3000	1000

電機各社によるベアの実施は6年連続となる見通しで、累計1万円の賃金改善となる。11日に記者会見を開いた電機連合の野中孝泰中央執行委員長は「働く人の生活に直結する賃金が最も大切。だから月例賃金にこだわると語った。

米中貿易摩擦や中国景気の減速など世界経済への不透明感は強まるなか、ベアが継続したことにより「会社側は例年よりベアに慎重だ」と労組幹部は話す。

会社側は人材への投資として、ベアではなく退職金や子育てと仕事の両立、職場環境の改善などの待遇改善を主張。ベア

電機業界では電機連合が要求をまとめた上で各労組が会社側と交渉し、会社側もベアの金額を一律にしている。ただ電機各社は業績に違いが出ているだけでなく、海外事業の拡大で国内外の賃金体系が異なるなど違いは大きい。

会社側は今後回答にはらつきが出る可能性を示しているほか、電機連合も「今年が終わったところで統一要求のあり方を一度総括したい」（野中氏）としている。

トヨタ自動車など自動車業界も経営環境の厳しさを背景に経営側は大幅な賃上げに慎重姿勢だ。主要企業が正式に妥結額を公表する13日の集中回答日まで詰め協議が続く。

各地で春闘集会、春闘セミナー、春闘学習会などを開催！
職場から中央本部激励の取り組み展開！
常駐体制を確立して交渉を支える取り組みを展開！

全組合員参加型のJR総連春闘を創りあげよう！